

帯広病院 21-4111
柳町医院 30-3111
白樺医院 38-3500
ケアセンター白樺 41-1165

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会
帯広市西9条南11丁目1番地
0155-21-4718
発行責任者 今野 光昭
URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>
E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

介護保険制度改悪 学びからに住民良いまちづくりを考えよう

2015年4月より介護保険制度が改正されました。介護報酬の大幅な引き下げや、介護保険料の引き上げ、介護サービスの「範囲の縮小」(適正化)、「費用の削減」(効率化)、「対象の限定」(重点化)がすすめられ、穏やかに住み慣れた地域で暮らそうとする高齢者の生活に直結する問題です。

『4つの切り捨て』による給付と負担の見直し

1. 予防給付の見直し↓
要支援者の訪問介護・通所介護の削減・打ち切り

要支援1・2の認定を受けている方の訪問介護・通所介護を介護保険から除外し、市町村が行う「介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行されます。

各市町村は平成29年3月末までに整備しなければなりません。しかし、国は今までの予防給付のようないな人員、運営等の基準は一律に定めず、ガイドラインを作成し、その範囲内で市町村による柔軟で効率的な対応を可能にしようとしています。また、NPOやボランティアなどを活用、非専門職によるサービス提供も可能としています。さらに、事業者者に委託(認定)する場合の単価は、現在の訪問介護、通所介護(予防給付)の報酬以下の単価を市町村が設定することとなります。このことにより、今まで受けていたサービス内容とは異なり、サービスの内容は市町村の裁量しだいで、自

治体によって格差が生じてしまう恐れがあります。

2. 特養の機能の重点化
↓対象を原則要介護3以上とし、要介護1・2を事実上排除

全国での特養入所者57万人のうち、要介護1・2の利用者は11・7%を占めています。入所しなければならぬ理由があつての入所のはずです。特例入所が認められ、①重度認知症、②知的・精神障害、③虐待、④独居・老老介護・介護力不足などの要件に合えば入所が可能とす。しかし、先日相談を受けた要介護1のAさんは、認知症が進行し徘徊して家に戻れなくなるのが頻発してしまつた。在宅での生活は困難となり施設入所を検討していますが、金銭負担



ご自宅に訪問し制度改正により影響を調査

が重い有料老人ホームやグループホームへの入所は諦めざるをえません。特例入所で特養への申請を相談しましたが、仮に入所が認められても重介護の待機者が優先されるため、入所時期は答えられないとのことでした。

3. 一定以上所得者の利用負担の見直し↓
所得の線引きによる定率1割負担(9割給付)の切り崩し

8月から年金収入が単身者で年間280万円以上の場合、2割負担となり、65歳以上の5人に1人が対象となると言われています。独居のBさん(男性)はヘルパー、訪問看護を利用し、利用料負担は月額約5千円です。個人年金があり280万円を超えるため2割負担となりそうです。Bさんは「現状のサービスを続けるだけなら何とかなるが、足腰も弱くなつてきているし、一人だから使うサービスが増える。そこで2割負担となると、回数を減らすなど考えなくてはならない」と悩ま

れ、サービスを手控える利用が増えることが懸念されます。

4. 補足給付の見直し↓
資産要件等の追加で、低所得者を施設から締め出し

所得に応じて特別養護老人ホームや介護老人保健施設、ショートステイを利用する時の「食事代」や「居住費」が軽減される制度があります。非課税世帯であるかが要件でしたが、8月から世帯分離の有無に限らず配偶者の所得、預貯金など細かい資産状況の調査、遺族年金や障害年金など非課税年金収入も勘案されます。軽減が外された場合、4・5万円から最大で8万円も支払いが増えるケースが出てくるのが試算され、低所得者に対する施設からの締め出しに他なりません。

利用者の実態を把握し、声に出来ない思いをくみとる

十勝勤医協の介護事業所では、介護保険制度改正による影響調査を始めしています。独居で生活している96歳のCさん(女性)は、年金が月に7万円ほどで、何とかやりくりして生活しています。週に2回デイサービスに通うことが楽しみにしていますが、これ以上の利用者負担は出来ないというサービス回数を増やすことが出来ませんでした。ともに80代のDさん夫婦は、わずかなアパートの家賃収入があつても非課税世帯です。しかし、そのわずかな家賃収入が

資産と見なされ、利用料が軽減される対象から外されています。収入では非課税であるのに矛盾していることがわかります。独居で暮らす84歳のEさん(男性)は、訪問した際は「困っていない」「不満はない」とのことでした。しかし、若くして離婚し、一人娘には先立たれ、生活保護基準以下の収入でも必死で生きてきたEさん。いつもサービスを減らそうとしますが、「今までの人生でこんなに優しくされたことはなかった」と十勝勤医協の介護サービスだけは継続されています。

この影響調査を行うことで、個別に抱えている困難や制度の矛盾などを浮き彫りにし、利用者に寄り添う実践をすすめることと、安心して住み続けられるまちづくりのための社会保障改善の取り組みにつなげていきます。

ケアマネジャーが講師となり、各地域友の会の健康相談会で介護保険制度についての学習会も行っています。私たちが目指す地域のために、ともに学び、考え、発信していきましょう。



地域での学習会の様子

聴診器

3年前のころムで孤独死・孤立死について書いた。この年から友の会ニュース配布時に75歳以上の独居・夫婦世帯に「見守り・ひと声かけ」運動を開始した。現在、1,238人・世帯に毎月声かけが行われている。▼3年経つても孤立・孤独死をめぐる状況は変わっていない▼友の会総会で職員が係わった孤独死のケースが報告された。働きざかりの男性だった。地元

の友の会と連携を取り見守りを開始する直前であつたという▼東日本大震災後の仮設住宅でも2014年度112人の孤独死が報告された。阪神淡路大震災でも孤立・孤独死が問題になった。教訓が生かされていない。政治の怠慢では許されない▼介護保険が改悪され、予防給付が見直された。要支援1・2の通所介護・訪問介護が自治体に丸投げされる。介護難民化が危惧される▼高齢者の居場所づくりが友の会でも行われている。ふまねつとやお茶のみサロン。男の力レーなど多彩。でもまだ少ない。全ての友の会での取り組みが求められる▼NPOえがおの活動も始まつた▼地域で安心して暮らしたい。そんな願いに応える友の会でありたい。

シリーズ

憲法があぶない



十勝・帯広「九条の会」
連絡会・事務局員
塚田 克己

日本が国際社会の一員として世界に貢献できる国でありたいと思う。安倍首相は、いま国会で審議されている「安全保障法案」は国際貢献のため必要だという。国会論戦の中で、この法案が「いかに戦争できるようにするか」を定めようとする「戦争法案」であることがますます明らかになって来ている。

この活動に参加している人たちが一応にいうのは「日本は憲法の精神にのっとり軍事部隊を送らず反政府勢力にも住民にも銃を向けなかった。現地の人々は日本人の活動の『中立性』を高く評価し信頼を寄せてくれている」ということだ。

第二次世界大戦後、一度も戦争に参加していない国はスイス、フィンランド、スウェーデン、アイスランド、ブータン、そして日本の6ヶ国だ。憲法のもと70年間築いてきた「中立性」こそ、これからの国際貢献にもっとも必要なことだと思う。法案提出者の推薦した

第24回 友の会連絡協議会総会



第24回友の会連絡協議会総会が5月23日(土)、帯広市内「とちかち館」で開催され、40友の会から代議員100名(代議員定数118名)、職員13名が参加しました。来賓として、日本共産党十勝地区委員会委員長佐藤系江氏、十勝勤労者医療協会理事長深町井知博氏よりそれぞれ挨拶を頂き、その後提案と討論に入り、討論では、大腸

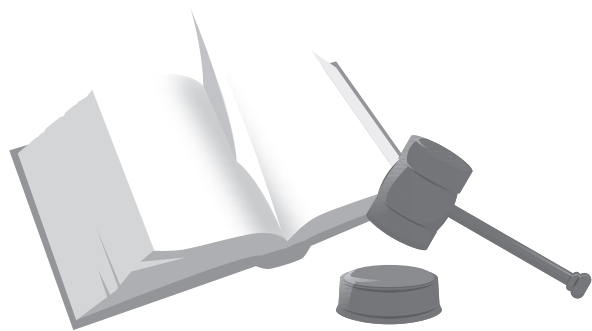
がんや友の会健診等の保健予防活動の取り組みについて、会員拡大と組織づくりと9条の会での取り組み、合わせて6名からの発言がありました。職員からは、無料定額診療と民生委員訪問と孤立死孤独死事例報告についての発言がありました。

また、十勝勤医協から反核・平和自転車リレーへの協力の訴えがありました。

今総会では、提案された全議案が満場一致で採択されました。

【総会事務局 池田 大輔】

憲法学者までもが憲法違反だという「戦争法案」は廃案しかない。そのために「憲法9条守れ」の運動を大きく広げよう。



研修医を紹介します。

勤医協中央病院初期研修医 小野 敦彦



この度お世話になりました。初期研修医2年目の小野敦彦と言います。北

自分に遺された時間が数カ月だとしたら、皆さんが一番したい事は何かですか？

帯広病院では、他院からの転院依頼、退院調整を役割の一つとする地域医療活動室があります。市内の総合病院から、がん末期で抗がん剤や放射線治療等の積極的治療を行わず、緩和医療に徹する意向を示された患者さんなどの転院相談を頂きます。

院内の会議で病態や日常生活等の状況を協議した後、ご本人、ご家族の意向確認のため面談に伺います。病状に対する理解や受け止め、これまでの生活背景や趣味、当院転院への不安や質問等、率直な思いを聞かせてもらっています。「抗がん剤治療を受けてきたが、もう辛い・痛い治療は受けさせたくない」、「一度で良いからお風呂に入れてあげたい」、「自宅に帰っ

医療・介護の現場から シリーズ⑥③

気・倦怠感が強くて食事が一切摂れず、24時間点滴をしていました。家族が勧める外出にも、「こんな姿で家に帰れない」、どこにも行きたくない」と話されていました。しかし転院後、吐き気が徐々に取れ、食事量も全量摂取

て身辺整理をしたい」、「飼っている犬に会いたい」、皆さん其々の思いを持っています。転院後その思いが少しでも叶うよう、心地よく過ごせるよう医師や病棟スタッフは日々話し合いを重ねています。Sさんは転院前、吐き

見北斗高校、秋田大学医学部卒の26才です。様々な先生方に多大な迷惑をおかけしつつ日々学ばせて頂いております。私が今回十勝勤医協さんを選ばせて頂いたのは、あまり馴染みのない土地であったこと、十勝という過疎化が著しい土地で、

医師の数も少ないところで、どのようにして医療が成り立っているのか、どのようなビジョンを持って医療に臨んでいるのか興味があったからです。話は変わりますが、大学時代はラグビーをやっていたこともあり、体力には自信があります。また、趣味は旅行です。7月6日(月)より31日(金)までの約1ヶ月間ではあります、皆さんといろいろな経験を得られたらと考えております。よろしく御願いいたします。

できるまで落ち着き、私達スタッフを驚かせました。体力が付き自宅復帰したいとの意向を聞き、介護保険サービスや往診などの調整等援助し、食べられなくなるまで住み慣れた生活の場に帰る事が出来ました。自宅復帰出来る方は限られますが、最期を悔いなく過ごせるために介護との連携は欠かせないものとなっています。

Sさん以外にも環境変化が功を奏したのか、体調や状態が転院前より改善される方もおり、ご本人達の生命力の凄さに私達が学ぶことは沢山あります。

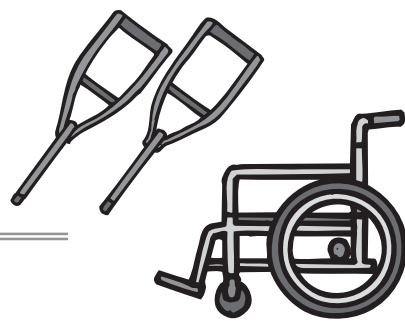
緩和治療への要望はその人その人で違いますが、転院される方の不安な気持ちや少しでも解消できるように、一緒に揺れ、悩み、大事な時間を今後も過ごさせて頂きたいと思っています。

【帯広病院外務課 小林 知永】

【リハビリだより】

訪問リハビリについて

ケアセンター白樺作業療法士 吉野和孝



『こんにちは、ケアセンター白樺で作業療法士をしている吉野です。』

『今回も、在宅での生活を支える、訪問リハビリの実践についてご紹介します。』

どのような方が利用されているか…

◎介護認定をされ、主治医が必要と認めた場合に訪問リハビリを受けることができます。

- 退院・退所直後で、自宅での生活に不安があり、引き続きリハビリを受けたい方
 - 自宅のお風呂に入りたいが転びそうで入れない
 - 寝たきりの方を起こしてあげたいが、上手く起こせないご家族の方
 - 外出したいが、玄関に段差があって出られない、道が悪く外を歩くのが不安
 - 運動はしたい（してほしい）が、人が多く、時間が拘束される通いのサービスは合わないという方
- …など他にも理由は様々です。その人のニーズを尊重してリハビリを行います。

Bさんのリハビリの様子 『外出への援助』

【70代、要支援2】

【相談内容】疾患により、全身状態悪くなり、入院し一時寝たきり状態になる。治療後、在宅復帰となるが在宅酸素療法と、一部車いすでの移動となった。徐々に状態は良くなってきていたが、病気に対して自分なりの見解で運動をし、状態悪化が心配され、訪問リハビリでの対応となった。

【経過】

- Bさんは、常に酸素吸入が必要な状態であったが、「肺を鍛えるため」と自分の判断で酸素を外して生活や運動をしていました。
- 早く良くなりたいという強い気持ちを尊重しつつ、酸素の必要性や

身体状況を説明し、実際に、運動をする中で、体が十分な状態ではないことを認識して頂きました。

○適切な運動量とストレッチを指導し、Bさんの努力により、歩行が安定したため車いすが必要なくなりました。

○そこで、歩いて買い物に行く目標が生まれました。徐々に歩行距離を延ばして、自分で状態を把握して休息がとれるように練習をし、不安があったご家族にも理解を得ながら運動を行いました。

○体力が向上し、酸素療法が終了となりました。

○実際に買い物体験を実施し、休む場所や階段、危険な場所を確認しながら、自分の目で選んで買えた

ことに大変喜ばれていました。
○さらに、行動の範囲を広げたいと決意し、バスに乗る目標を立てました。

○バス乗車の際の危険な個所や、到着先の休憩場所を確認し、実践しました。疲労は大きく、休息は必要でありましたが、2年ぶりにバスに乗れ、以前の生活に近づいたことに満足されていました。

【まとめ】Bさんは、良くなりたいという本人の強い意志と目標を持っていたことが一番の回復につながったと思われます。それに対して必要な運動や助言をすることで今回のような結果になりました。家の中だけではなく、買い物やバスに乗ることを通して、活動の範囲を広げ他者や社会との繋がりを作ることが、リハビリの重要な目的なのです。



買い物をしている様子



バスに乗車する様子

白樺医院では、毎月第2木曜日（祝日等での変更あり）に、地域無料健康相談会を行っています。この無料相談会は、無料低額診療制度の基準に基づき、地域の皆さんの健康管理や健康づくりに寄与する目的で2011年7月より開始しました。今回のテーマは、居宅支援事業所白樺の山元房子ケアマネージャーを講師に迎え、「介護予防について」、参加者みんなで、「オビロビ体操」を行いました。

参加者からは、「きつかったけど、楽しくできました。」「地域でもやっている。一人ではなかなかできないので、機会があるとやってみよう。」「ぜひまたやってほしい。」等の感想が寄せられました。昨年度実施した主なテーマは、「窓口会計のしくみの話」・「介護保険制度の申請・利用について」・「骨粗しょう症について」・「放射線・レントゲンの話」・「お薬Q&A」・「みんな、楽しくおびろび体操」・「水俣病」についてなど、医療から介護制度について幅広いテーマで行いました。今後も様々なテーマで

白樺医院

みんな元気に

「オビロビ体操」

柳町医院では、毎月第2、4月曜日の14時から、定期的にふまねつとを行っています。
「ふまねつと」とは、50cm四方のマス目でできた大きな網を床に敷き、この網を踏まないようにゆつくり慎重に歩く「運動」です。マス目を利用したステップがたくさん用意されており、このステップを間違えないように「学習」しながら歩行のバランスを改善する「運動学

習療法」です。「療法」といっても堅苦しいものではなく、気軽に楽しく体を動かせる体操です。現在、毎回10名前後の方が参加しておりますが、汗あり、爆笑ありと、とても楽しく和やかな雰囲気で行っています。ひとりぼっちでさびしく過ごしている方はいませんか？仲間も増えて楽しいですよ。ぜひご参加ください。あわせて、「ふまねつと」

柳町医院

汗あり・爆笑あり 定期的にふまねつとを開催

の前後に健康チェック（血圧等）を行い、その後スタッフが、日頃気になる医療・介護についてお話をうかがいます。無料です。お気軽にご参加ください。

【柳町院事務長 三浦 紀秋】



【白樺院事務長 高田 弘之】

「無料健康相談会」を予定しています。誰でも気軽に参加できますので、お気軽に参加ください。
*「オビロビ」とは、「おびろエアロビクス」の略称で家の中でも行うことができます。生活習慣病やメタボリックシンドローム予防を目的に帯広市が作成したものです。



友の会連絡会「ナー」 ☎〇二五・二二・四二四四

生き生き広場

介護保険の学習会

札幌西友の会

5月19日（火）の10時から札幌市内南コミセンで、新日本婦人の会幕別支部エンディングノート小組と共同で学ぶことにしました。医療・介護の署名など改悪反対の運動をしてきましたが、今現在の制度や病院や介護施設の状態など、どのようになっているか知りたく、企画しました。新婦人のエンディングノート小組で、

札幌地域の介護施設を見学などされていきました。その中で、今後のことや、親の介護が必要になる情報を知りたいと、友の会の会員が多く、健康相談会を学習中心に計画しました。当日は9名の参加でした。

今回の学習では、医療や介護が改悪され今後どのようになるのか、とても分かり易い資料もあり、このまま、改悪されたら安心な老後なんて来ないと思います。消費税が



改定ほどひどいものはないと思えました。元気に地域で暮らしていくために何が出来るのか、考えたいですね。

【札幌西友の会

事務局 岡崎 節子】

研修医先生を迎え、相談会を実施

柏林台友の会

6月12日（金）14時から柏林台福祉センターで健康相談会を行い、地域研修中の高桑医師、看護師、事務の方に来ていただきました。10名の方が参加し、「嚥下障害を予防して、

長く元気に、楽しく食べる」をテーマに高桑医師よりお話いただきました。嚥下とは？から始まり、原因・症状など事例を交えながら説明を行い、また嚥下障害の予防として「笑う」ことが有効で嚥下だけではなく、癌などにも効果があることが話され、高桑医師お勧めの動画を視聴しました。最後に嚥下を予防する体操を参加者全員で行いました。また、事務局より特定健診・大腸がん健診のお勧めが、ありました。



行動するなんて生まれて初めて！人・人の波があるのニューヨークの中心地を数キロに渡って埋め尽くし、平和の象徴の折鶴を道行く人達に手渡したり、様々な形で「核廃絶、平和な地球をつくろう」と訴えが緑り広げられ、私は心が沸き立ったのです。日本代表団最大の目的としていた「核兵器全面禁止のアピール署名」633万6,205人分を、第9回NPT再検討会議のタウスフェルキー議長とアンゲラケイン上級代表に提出しました。「人類と核は共存出来ない」これは世界の大多数の声です。これからも諦めず、安心で平和な地球の実現めざし、自分の出来る活動が続けていこうと思います。

【新日本婦人の会

浅沼 双枝】



NPTに参加して

4月24日〜29日まで、NPT再検討会議ニューヨーク行動に、十勝代表として参加してきました。「核兵器なくせ」と世界中から市民が集まり声を上げ、10,000人のパレード。とにかく世界各国の人たちに混じって

頭の体操

次の□の中に二字熟語ができるように漢字を入れてください。□に入った漢字を組み合わせて答えになります。

出題者は高坂由美子さん（帯広市）です。

浄 □ 時 □ 悦 □ 権 □ 火 □ 草

恒 □ 量 □ 日 □ 積 □ 水 □ 木

ヒント

安心・安全・おいしい

【答え】

□□□□（漢字でご記入ください）

【応募方法】

解答とお名前、住所、電話番号をハガキか電子メールで、左記へお送りください。

【宛先】

○郵送

〒080-0001 9
帯広市西9条南11丁目
十勝勤医協会館内
友の会ニュース編集部
○メール
soshiki@tokachi-kin-
ikyō.or.jp

【賞品】

抽選で10人の方に、千

各友の会連絡先

- 【音更東】菅原 一晴 一五五・三二七・〇九五
- 【音更西】増田 浩毅 一五五・三〇八・八六〇
- 【音更南】坂本 恵子 一五五・三二一・六二六
- 【音更北】中嶋 晴子 一五五・四二二・一九九
- 【音更東】和田 鶴三 一五五・四二二・一九九
- 【音更西】山本 政俊 一五五・四二二・三〇八
- 【音更南】土山 武志 一五五・六四四・四七一
- 【音更北】清水 美穂 一五五・六四四・四七一
- 【音更東】鹿嶋 耕次 一五五・六四四・四七一
- 【音更西】室 耕次 一五五・六四四・四七一
- 【音更南】西村 和正 一五五・六四四・四七一
- 【音更北】更別 大津寿美香 一五五・六四四・四七一
- 【音更東】大樹 有岡千恵子 一五五・六四四・四七一
- 【音更西】尾 前崎 一五五・六四四・四七一
- 【音更南】幕別 小林 正明 一五五・六四四・四七一
- 【音更北】札幌 鈴木志摩子 一五五・六四四・四七一
- 【音更東】札幌 成沢せい子 一五五・六四四・四七一
- 【音更西】札幌 増田 武夫 一五五・六四四・四七一
- 【音更南】札幌 岩井 明 一五五・六四四・四七一
- 【音更北】池田 清治 一五五・六四四・四七一
- 【音更東】豊 岩井 明 一五五・六四四・四七一
- 【音更西】本 加藤 孝一 一五五・六四四・四七一
- 【音更南】足 田利美智子 一五五・六四四・四七一
- 【音更北】陸 黒沼 明美 一五五・六四四・四七一
- 【音更東】東 加藤 みち 一五五・六四四・四七一
- 【音更西】柏 加藤 昌明 一五五・六四四・四七一
- 【音更南】光 村上やよい 一五五・六四四・四七一
- 【音更北】鉄 牧野美智子 一五五・六四四・四七一
- 【音更東】中央 田村力オリ 一五五・六四四・四七一
- 【音更西】啓 北 内田 豊 一五五・六四四・四七一
- 【音更南】栄 及川 洋子 一五五・六四四・四七一
- 【音更北】開 西 石澤 英子 一五五・六四四・四七一
- 【音更東】西 帯広 清水美喜子 一五五・六四四・四七一
- 【音更西】西 南 田所 豊之 一五五・六四四・四七一
- 【音更北】緑ヶ丘 片石 祐一 一五五・六四四・四七一
- 【音更東】白 樺 高宮 裕 一五五・六四四・四七一
- 【音更西】新 緑 千田 濱子 一五五・六四四・四七一
- 【音更北】柏 林台 横塚恵利子 一五五・六四四・四七一
- 【音更東】緑 西 村上久美子 一五五・六四四・四七一
- 【音更西】稲 田北 平 麗子 一五五・六四四・四七一
- 【音更北】稲 田南 藤田 功 一五五・六四四・四七一
- 【音更東】大 空 畑中 庸助 一五五・六四四・四七一
- 【音更西】川 西 伊沢佐恵子 一五五・六四四・四七一
- 【音更北】大 正 岡山 幹男 一五五・六四四・四七一